# 札幌市小学校英語教育研究会

日時：平成２０年８月４日
会場：札幌市立円山小学校

AEEN　統括コーディネーター
小山　俊英（旭川市立北光小学校教諭）

# 小学校外国語活動

旭川から

思いつくままに

～　12の提言　～

# 1．小学校外国語活動が学習指導要領に明記！

○ 「やる・やらない・・・、なぜやるの？」という議論の時代は、終わった。これからは、「何をどのようにする？」という時代へ

○ 学習指導要領を読み解くことから始めたい

～ 知ること（読み解くこと）で見えること ～

○ 最も「ウォーミングアップ」（準備）と「助走」（練習）が必要な学習活動

～万全の準備が必要「必修化10のチェックリスト」

# ２．どこから、何から手をつける？

- まずスタートは、学習指導要領を知ることから
- 学校教育構想のどこに位置づけるかを明確に
- 「外国語活動で目指す子どもの姿」を共有

↓

- スタートは、「実技研修」から？
  ～「楽しさ」の実感は、固さとバリアを粉砕する
- それが難しければ、少人数から・・・・

# ３．校内体制をどうつくる？

- 学校事情により、取組の内容は異なるが、
  - 教育構想に位置付いたり、研究の窓口になれば（一部も可）、校内体制は整いやすい
  - （ただ多くの学校は、基盤が十分ではない。）

  そういう学校では、

  ① 中心的役割を担う者・・・核として少しずつ

  ② 外部から推進者を招いて取り組む

  ③ 校長・教頭のリーダーシップ

# ４．地域サポートは万全？

- 本来、教育委員会等がイニシアチブをとって進めるべき･･･すでに移行期！

  ････旭川では、2歩も3歩も遅れている

○　旭川では、

- AEEN （小学校教員･･･約60校の2分の1をカバー、中学校･幼稚園･大学生･民間の英語教室主催者等が会員となっている）

  ➡ 小学校英語の拠点･･･AEENが発信源

# 5. 指導方法は？

- □　共通の指導方法を導入して取り組むことが、成果につながることは、先行実践（旭川日章小・東川第3小・留萌礼受小等）で明らかになっている。
- □　指導方法は、何であってもよいが、基盤となる考え方は、しっかりと押さえなければならない。
- ○ 旭川では・・・[B-SLIM]そして次に[発展的B-SLIM]による英語活動,[基盤的B-SLIM]による英語指導計画等、指導方法の提案をAEENで行い、各学校での実践に繋いでいる

# ６．今だから、とにかく交流そして発信！

- 移行期から5年間・・・何でも発信・交流。
  発信することで学ぶ。
  - ○ 内容や質に拘ることはない
  - ○ 個が発信・学校が発信・サークルが発信
  - ○ だから・・・ネットワークが大事、実践が大事

↓

**北海道発の大きな流れに！**

# 7．小学校英語ノートは、どう使う？

□　小学校英語ノート（試供版）拠点校に配布
　・・・それに伴う「指導書」も配布
　○小学校英語ノートVS各出版社等のﾃｷｽﾄ
　○小学校英語ノートVS地域作成教材
　・・・小学校英語ノートのメリット・デメリットは?

○　旭川では・・・AEENワークショップ等で全社のﾃｷｽﾄを展示・多くの方々に提供

# ８．カリキュラムは、どうしよう？

- □　移行期間に作成が必要
- □　ハードカリキュラム（学年別・月別・内容）
  ・・・児童のニーズを取り込めるゆとりは必要

○　総合的な学習の時間の時に作成した英語活動の「カリキュラム」が、そのまま使用できるとは限らない。（総合と外国語活動の「ねらい」の相違）

# ９．本当に大事になる小中連携！
# ～　主張できる小学校でありたい！

□　お互いに「知る」ための場を

○　旭川では・・「中学校の授業を参観する会」そして、AEEN授業研究会に中学校の先生に来ていただくという交流を持っている

↓

□　お互いに「語る・求める」ための場に

・・・　「点」を「線」にできるための主張を！

# １０．人材は？ALTはなかなか来ないし、外部人材は活用が難しいし・・・・

- □ 学級担任が中心となる指導
- □ ネイティブサウンド（それに近い音でも可）は指導上有効（必要）・・<u>それを何で確保するか?</u>
- ○ 頻繁に招聘できるALTは、有効。【役割分担】
- ○ 外部講師（外国人講師・J-shine・・・）も有効

【学校が主体性を持って、外国語活動に対する考え方を説明。外部講師はあくまでも、その実現をサポートする役割を担う】

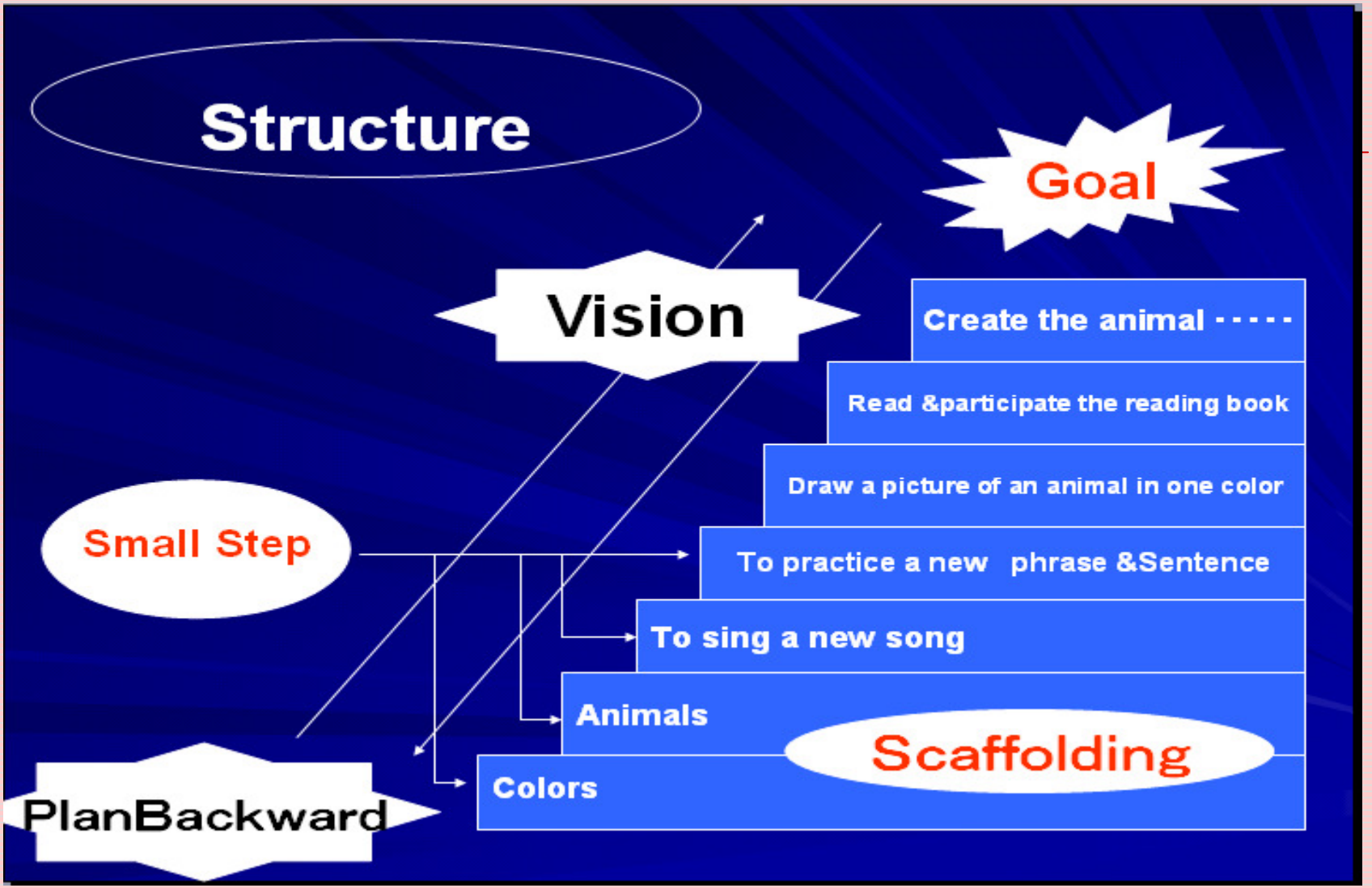
# 11. みんなで一歩を踏み出そう！
# でも、肝心なことだけは忘れずに！

□　肝心なこと‥‥①英語学習者の心理
②基本的な約束事

○　指導方法は、多様でいい。しかし、指導の進め方（考え方）は、しっかりと押さえる。

○ 旭川では‥‥＊「Small Step」による構成
＊「Vision」と「Plan backward」の考え方
＊「Input」「Output」の充実

提　案


Structure
Goal
Vision
Create the animal - - - - -
Read &participate the reading book
Draw a picture of an animal in one color
Small Step
To practice a new phrase &Sentence
To sing a new song
Animals
Scaffolding
Colors
PlanBackward

# １２．特別支援学級における英語活動

- 特別支援学級における英語活動
  - ○　旭川では・・・佐藤直子（比布中央小）の先行実践（平成１８年度下中賞受賞）を踏まえてAEEN特別支援部創設
- 英語活動の特質を生かした実践
  - ・・ ①「非言語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ」として生かす英語
    ②独特の「リズム」を伴う英語
    ③TPRを取り入れた英語活動

# 小学校外国語活動拠点校に注目

おまけ

- □ カリキュラム作成
- □ 小学校英語ノートを用いた実践

↓

- ○ 成果発表会の実施
  （活用すべき！）
- ○ 英語情報の引き出し

# AEENでは・・・・

- Dairy YomiuriにAEENの活動掲載(5/29)
- シティサクセス・ファンドの助成決定(2008)
- 松下教育財団・成果報告会(8/7)

- 年間7回のワークショップ＆授業研究会を開催
- HPによる発信
- 各種団体とのネットワーク化の推進